

2014年度 第4回研究会

江戸時代の女性の稽古事

谷村 玲子

(国際基督教大学 アジア文化研究所研究員)

江戸時代の女性の稽古事については、明治以降のものに比べると、身分による文化の違いによって総括的な論議は難しい。

しかし十七世紀半ばから幕末に至るまで、数多く出版された女子向刊行本は、かなり広く読者を想定したものであった。こうした刊行本を検証することで、江戸時代の女性の諸芸とは何だったかを知る事は可能である。

本発表では刊行本で言及された女性の諸芸を紹介した後、その中でも特に三味線音曲と茶の湯という好対照の二つの稽古事を取り上げる。

発表では、江戸時代の女性の稽古事の目的について論じると共に、時代にそった女性の在り方の変化にも言及する。

日時:2014年 **12月12日(金)** **18:30~20:30**

場所:法政大学市ヶ谷キャンパス 5 8 年館 2 階

国際日本学研究所セミナー室

司会:横山 泰子(法政大学国際日本学研究所所員、理工学部教授)

参加申込:以下の申込専用フォームからお申込みください。
<https://www.event-u.jp/fm/10420.html>

法政大学国際日本学研究所

TEL:03-3264-9682

<http://hijas.hosei.ac.jp>

※ 参加費無料 どなたでもご参加いただけます

